



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 ウエルシアホールディングス株式会社

コード番号 3141

URL <http://www.welcia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 秀晴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼執行役員 (氏名) 佐藤 範正 (TEL) 03-5207-5878
最高財務責任者

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	376,970	—	12,094	—	13,148	—	6,541	—
27年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 6,540百万円(—%) 27年2月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	137.21	137.07
27年2月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成27年2月期より決算期を8月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、比較対象となる平成27年2月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年2月期第3四半期の連結業績及び平成28年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	230,843	100,942	43.7
27年2月期	165,828	74,225	44.5

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 100,770百万円 27年2月期 73,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	19.00	19.00
28年2月期	—	20.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期は、決算期の変更により平成26年9月1日から平成27年2月28日までの6ヶ月となっております。このため、期末配当のみ実施しております。

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,600	—	17,850	—	19,250	—	10,300	—	211.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期は、決算期の変更により平成26年9月1日から平成27年2月28日までの6ヶ月となっております。これに伴い、平成28年2月期の連結業績予想の通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社CFSコーポレーション、除外 1社(社名) -

(注)平成27年9月1日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社CFSコーポレーションを株式交換完全子会社とする株式交換を行い、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	52,408,679株	27年2月期	44,047,906株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	442,401株	27年2月期	40,688株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	47,676,888株	27年2月期3Q	-株

(注)当社は平成27年2月期より決算期を8月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、比較対象となる平成27年2月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年2月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載していません。

(注)期末自己株式数には従業員ESOP信託口が保有する当社株式(平成28年2月期第3四半期 413,000株、平成27年2月期第3四半期-株)が含まれております。また、従業員ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数に含めております。(平成28年2月期第3四半期 60,803株、平成27年2月期第3四半期 -株)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融証券取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策、金融政策を背景に企業収益や雇用情勢が改善傾向にあり、個人消費につきましては、消費税増税後の落ち込みから持ち直しが見られるものの、節約志向や円安による物価上昇もあり先行き不透明な状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM&A等の生き残りをかけた業界再編の動きが継続する中、出店競争や価格競争が激化し、顧客獲得など厳しい状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは積極的に既存店の改装に取組み、調剤併設店の増加、化粧品のカウンセリング販売の強化、MD政策等のウエルシアモデルの推進により、調剤部門が牽引し、既存店売上高が好調に推移いたしました。

当社は、平成27年3月1日付で関西地区を地盤とするタキヤ株式会社（以下、「タキヤ」という。）とシミズ薬品株式会社（以下、「シミズ薬品」という。）を株式交換により完全子会社化し、平成27年6月1日から基幹システム、物流拠点、POSシステム、販促施策等の統合を行いました。さらに、平成27年12月1日付で当社の子会社であるウエルシア薬局株式会社を吸収合併継続会社、タキヤを吸収合併消滅会社とする組織再編を行い、関西地区における事業拡大の早期化に努めてまいります。

また、平成27年9月1日付で株式交換により株式会社CFSコーポレーション（以下、「CFS」という。）を完全子会社化し、「日本一のドラッグストアチェーンの構築」に向け、平成28年3月1日からの基幹システム、物流拠点、POSシステム、販促施策等の統合準備を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は376,970百万円、営業利益12,094百万円、経常利益13,148百万円、四半期純利益6,541百万円となりました。なお、当社グループは、前連結会計年度より決算期を8月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年11月30日）に対応する前第3四半期連結累計期間がないため、前年同四半期比較については、記載しておりません。

出店と閉店につきましては、グループ全体で56店舗の出店と29店舗の閉店に連結子会社化したタキヤの78店舗、シミズ薬品の57店舗さらにCFSの310店舗を加え、当第3四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は1,464店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成27年2月28日)	子会社化による 新規増加店舗数	出店数	閉店数	第3四半期末店舗数 (平成27年11月30日)
ウエルシア薬局	987		45	20	1,012
タキヤ (注) 1	—	78	6	2	82
シミズ薬品 (注) 1	—	57	1	2	56
CFS (注) 2		310	3	3	310
国内計	987	445	55	27	1,460
聯華毎日鈴商業(上海) (注) 3	5	—	1	2	4
合計	992	445	56	29	1,464

(注) 1 平成27年3月1日付でタキヤ、シミズ薬品は、株式交換により完全子会社化し、連結子会社としております。

2 平成27年9月1日付でCFSは、株式交換により完全子会社化し、連結子会社としております。

3 聯華毎日鈴商業（上海）の第3四半期累計期間は、平成27年1月1日から平成27年9月30日であるため、上表の「第3四半期末店舗数」欄は、平成27年9月30日現在の店舗数を表示しております。

4 上表の「第3四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗数は、ウエルシア薬局729店舗、タキヤ31店舗、シミズ薬品10店舗及びCFS104店舗の合計874店舗、また、深夜営業店舗数は、ウエルシア薬局842店舗、タキヤ45店舗、シミズ薬品10店舗の合計897店舗となっております。（CFSは、深夜営業を行っておりません。）

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。なお、当社グループは、前連結会計年度より決算期を8月31日から2月末日に変更しており、当第3四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年11月30日）に対応する前第3四半期連結累計期間がないことから、比較を容易にするため、前年同期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日）との比較を記載しております。

区分	前年同期間		当第3四半期連結累計期間		前年同期比(%)
	自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日	自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日	自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日	自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日	
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	63,222	82,924	63,222	82,924	131.2
調剤	35,001	52,297	35,001	52,297	149.4
化粧品	49,166	68,431	49,166	68,431	139.2
家庭用雑貨	40,757	55,361	40,757	55,361	135.8
食品	67,726	85,860	67,726	85,860	126.8
その他	26,443	32,093	26,443	32,093	121.4
合計	282,317	376,970	282,317	376,970	133.5

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して65,015百万円増加し、230,843百万円となりました。これは主に、商品が26,470百万円及び有形固定資産が18,319百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して38,298百万円増加し、129,901百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が17,587百万円、短期借入金が6,312百万円及び長期借入金が2,413百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して26,717百万円増加し、100,942百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が2,057百万円減少し、従業員E S O P信託を導入したことにより自己株式が2,358百万円増加したものの、資本剰余金が24,722百万円増加したことに加え、四半期純利益6,541百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月15日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年9月1日付で、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社CFSコーポレーションを株式交換完全子会社とする株式交換を行い、当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、物流業務に関する支払手数料を「販売費及び一般管理費」に含めて表示しておりましたが、前連結会計年度にイオン株式会社の連結子会社となったことに伴い、第1四半期連結累計期間より、「売上原価」に含めて表示する方法に変更しております。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、平成27年1月14日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員ESOP信託」(以下、「ESOP信託」という。)の導入を決議いたしました。

当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的とし、平成27年10月よりESOP信託を導入しております。

(1) ESOP信託の概要

当社が「ウエルシアホールディングス従業員持株会」及び「CFSコーポレーション従業員持株会」(以下「当社持株会」という。)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、当該信託は今後5年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、予め定める取得期間中に取得いたします。その後、当該信託は当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却いたします。当該信託は、保有する当社株式の議決権を、当社持株会の議決権割合に応じて行使いたします。信託終了後に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の抛割割合に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証条項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員の追加負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間2,357百万円、413千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第3四半期連結会計期間2,430百万円

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,043	12,320
売掛金	11,304	19,680
商品	42,292	68,763
その他	12,433	8,381
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	75,072	109,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,513	46,214
土地	9,085	11,048
リース資産(純額)	16,607	19,355
その他(純額)	2,723	5,630
有形固定資産合計	63,929	82,248
無形固定資産		
のれん	6,410	5,614
その他	2,129	2,486
無形固定資産合計	8,540	8,101
投資その他の資産		
差入保証金	14,034	25,120
その他	4,283	6,301
貸倒引当金	△31	△70
投資その他の資産合計	18,286	31,351
固定資産合計	90,756	121,701
資産合計	165,828	230,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,501	76,088
短期借入金	3,177	9,490
未払金	2,821	4,661
未払法人税等	2,417	2,349
賞与引当金	189	1,036
ポイント引当金	33	1,687
その他	7,497	11,080
流動負債合計	74,639	106,394
固定負債		
長期借入金	4,584	6,998
役員退職慰労引当金	—	6
資産除去債務	2,601	4,171
退職給付に係る負債	880	1,181
その他	8,896	11,148
固定負債合計	16,964	23,506
負債合計	91,603	129,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,736	7,736
資本剰余金	26,928	51,651
利益剰余金	39,036	43,521
自己株式	△43	△2,401
株主資本合計	73,657	100,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	273
為替換算調整勘定	9	2
退職給付に係る調整累計額	34	△12
その他の包括利益累計額合計	178	264
新株予約権	209	161
少数株主持分	179	10
純資産合計	74,225	100,942
負債純資産合計	165,828	230,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	376,970
売上原価	271,300
売上総利益	105,670
販売費及び一般管理費	93,575
営業利益	12,094
営業外収益	
受取利息及び配当金	14
不動産賃貸料	387
協賛金収入	311
その他	655
営業外収益合計	1,369
営業外費用	
支払利息	174
不動産賃貸原価	131
その他	9
営業外費用合計	315
経常利益	13,148
特別利益	
退職給付制度改定益	92
違約金収入	40
投資有価証券売却益	35
その他	5
特別利益合計	173
特別損失	
固定資産売却損	400
固定資産除却損	87
減損損失	740
その他	305
特別損失合計	1,533
税金等調整前四半期純利益	11,788
法人税、住民税及び事業税	4,771
法人税等調整額	505
法人税等合計	5,277
少数株主損益調整前四半期純利益	6,510
少数株主損失(△)	△31
四半期純利益	6,541

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成27年3月1日
至平成27年11月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	6,510
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	81
為替換算調整勘定	△4
退職給付に係る調整額	△46
その他の包括利益合計	30
四半期包括利益	6,540
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,570
少数株主に係る四半期包括利益	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年3月1日付で、当社を株式交換完全親会社として、タキヤ株式会社及びシミズ薬品株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。また、平成27年9月1日付で、当社を株式交換完全親会社として、株式会社CFSコーポレーションを完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が、24,717百万円増加しております。

また、平成27年1月14日開催の取締役会決議に基づき、「従業員ESOP信託」を導入し、当第3四半期連結累計期間において425千株を2,429百万円にて取得しております。この結果、自己株式が2,358百万円増加しております。